

内容:

- 九州新幹線
- 料飲業界の「元気を出す集い」

北から南から

- 東北BMC

編集後記

全国B.M.C.(全国宴会支配人協議会)からの月1回の通信です。

九州新幹線「さくら」

3月12日、九州新幹線が全線開通します。これで、大阪-鹿児島間が約3時間半で往来できるようになります。

昨年12月には、東北新幹線が青森まで延伸し、東京-新青森間が約4時間になりました。

つまり乗り継ぎは必要ですが、鹿児島から青森まで飛行機を使わずにその日の内に行けるということです。

私は北海道の十勝出身で、京都の大学に進学したのですが、日本海経由で36時間、東北本線経由でも26

時間かけて帰省していました。ずいぶん便利な世の中になったものです。

これで観光客が増え、ホテルの稼働率も上がるのではと期待されています。

しかし、宴会・料飲部門というのは残念ながらこう言ったことにはあまり影響を受けません。

我々は、地元といかに上手く付き合っていくかが大事なのです。

私は、広島へ来られたお客さまには、広島の街中で「広島焼き」を食べていただければいいと思っています。

ホテル館内のレストランは、地元の人たち向けに九州フェアや北海道フェアを開催して、楽しませてあげればいい。

また、宴会場は企業ばかりがお客さまではありません。個人需要も増えてきています。退職されても元気な人たちがたくさんいらっしゃいます。同窓会マーケットも単価が上がってきました。

「ホテルで宴会」が普通になるように、みんなで知恵を出し合ひましょう。

(以上)

料飲業界の「元気を出す集い」

2月22日、料飲業界の「元気を出す集い」がホテルオークラ東京で開催されました。

集まった団体は、以下の8団体です。

- ① AJCA(社)全日本司厨士協会
- ② BIA(社)日本ブライダル事業振興協会
- ③ HBA(社)日本ホテルパーメンズ協会
- ④ HRS(社)日本ホテル・レストランサービス技能協会
- ⑤ FBO(NPO)料飲専門家団体連合会

⑥ AHA(NPO)全国ホテル&レストラン人材協会

⑦ JHSIC 日本ホスピタリティ・サービス産業団体協議会

⑧ BMC 全国宴会支配人協議会

B.M.C.は全国役員以外の地区の会員の参加もあり、総勢300人という大きなパーティーになりました。

翌日には、東京ビッグサイトのホテルスジャパン会場

で、全日本司厨士協会の宇都宮会長、フードコーディネ

ーター協会理事の阪口恵子さん、全国B.M.C.の清原相談役がパネリスト、オオタパブリケーションズの太田社長がコーディネーターとなりパネルディスカッションが行われました。

そこでもテーマは「料飲業界が元気を出す」という内容で、大勢の観客が見入っていました。

ホテルスジャパンの会場で、北海道B.M.C.の斎藤前会長もお見かけしました。

(以上)

北から南から

東北B.M.C.

皆さんこんにちは、全国B.M.C 冬期総会の興奮が冷め遣らない岡山会長の後をついで書けることを光栄に思っております。

東北 B.M.C.は他地区と大きく違う点の一つあります。それは何かと申しますと例会時におけるセミナーの人数と懇親会の人数の大逆転劇。以前故橋本保雄様が東北 B.M.C の例会.に出席されたときの名言は「東北 B.M.C.は勉強集団である。」

んな“前例がない”と言うリーダーがいるが、一々前例の有無を気にしていたら、例えば黒電話から携帯電話は生まれなかったし、更にはメール機能やワンセグ機能付きの、こんな便利な携帯電話は生まれなかった。これから求められる強いリーダーとは、「前例がない」ではなく「改革」と言う2文字を掲げ、常に新しいことへの挑戦である。

そこで東北からの提案は接客用語の大革命。日ごろ日常茶飯事に使われている

それはセミナーの人数が懇親会の人数よりはるかに多い。これぞ真の B.M.C.の姿である」と、その言葉通り東北 B.M.C.は例会の度にセミナーを取り入れ、又新しいことへの挑戦も忘れない。

その一つは、東北発若手技能コンペティションは6回を数えた。そしてもう一つは誰も変えなかった接客用語の大改革の全国発信である。先人が作った道標をただ真似ていくのは容易いがそれで先人は喜ばない。常

「失礼致します」と「ありがとうございました」の見直しである。私達はお客様から大切なお金を頂戴する訳だから、お客様に喜んで貰えることだけをするべきで、決して失礼な事をしてはいけないのである。ところが現実には幹部クラスでさえ何をするにも失礼致しますの大連発である。一々失礼なんかしていたらお金を取れないどころか、その失礼するような未熟なサービスはいつ卒業するつもりですかと問いたい。

そしてもう一つは「ありがと

に歴史も記録も塗り替えられていく運命にある。今私達に求められているのは守破離(しゅはり)の原理で、先人から受け継いだものを守りながらも、しかしながら現代に合わなくなったものは捨て去る勇気、そして独自の工夫を加えて今までの型を超える。つまり私たちは先人の教えをただ真似るのではなく、平成の坂本龍馬を目指さなければならぬのである。

ところが何か新しいことを始めようとしたときに良く、そ

うございます」への拘りである。「ありがとう」は感謝を表す言葉だが、その言葉尻に「す」を付けるか、「た」を付けるかによって意味合いに大きな差が生じる。お客様に心底感謝する気持ちがあるのなら感謝の気持ちに終わりがあろうはずがない。つまり感謝の気持ちは未来永劫に持ち続けるべきで「ありがとうございます」の現在進行形が正しいのである。さあ、これでも「ありがとうございました」と「失礼します」を言い続ける勇気がありますか。

編集後記

この B.M.C. Times が、全国 B.M.C.のホームページで閲覧できるようになりました。ぜひ、パートナーの皆さんにもお知らせください。

22 日、23 日と東京に行ったのですが、やはり地方との違いを感じます。まず人が多く活気があります。広島は夜 9 時を回ると駅周辺と言えども人通りはまばらになります。繁華街(流川)はそこそこ賑わっているのですが、

それでも東京とは違います。

東京へ行くと、元気をもらって帰る一方、賑わいの差にショックも受けるのが本当のところ。それでも、やはり出かけなければいけません。出かけると何か発見があります。みなさん、新幹線に乗って出かけましょう！

■北から南からの予定
3月・・・東北(今回掲載)

4月・・・広島(次回予定)
5月・・・北海道
6月・・・沖縄
7月・・・四国
8月・・・東京
9月・・・京滋奈
10月・・・中国
11月・・・九州
12月・・・名古屋
1月・・・北陸

では、広島の藤本会長よろしくお願いたします。

全国 B.M.C.

2011-2012 年度会長

ホテルグランヴィア広島
伊藤 保

〒732-0822
広島市南区松原町
1 番 5 号

TEL:
082-262-1111

FAX:
082-262-4050

E-MAIL:
t_ito@hgh.co.jp

Web サイト

URL:
<http://www.e-bmc.com/>